

自助と共助は生命を救う

～地域から災害犠牲者を出さないために～

令和3年5月、災害対策基本法が改正され、高齢者や障がい者等の要援護者に対する個別支援計画の作成が全国の市町村に努力義務化されました。木津川市においても、行政や社協、専門職そして地域住民が一体となって計画作成に向けて取り組みを進めていかねばなりません。そのためには、地域の中で支援が必要な人を把握し、顔の見える関係を築き、情報共有をし、災害時を想定した備えを準備しておく必要があります。日頃からの地域の関係づくりが大きな防災力となって、いざという時の助け合いに繋がります。

災害時に誰一人取り残さないために、日頃から地域でできる取り組みについて考えましょう。

【日時】 令和6年1月28日(日)

14:00～16:00

【場所】 アスパアやましろ

【内容】 基調講演

「自助と共助は生命を救う

～地域から災害犠牲者を出さないために～」

講師 ADI 災害研究所 理事長 伊永 勉 氏

実践報告

(木津)「要支援者サポートについて」皆で考えよう！

木津町区支部 駒井 幸夫 氏

木津町区自主防災会 奈良 由雄 氏

(加茂) 日頃の見守りで顔の見える関係づくり

南加茂台支部 河口 靖子 氏

(山城) 北平尾地区の取り組みについて (仮)

北平尾支部 梅本 高詔 氏



【参加申込】 1月19日(金)までに社協各支所または Google フォームで **申込必須**

木津支所 71-9559

加茂支所 76-4338

山城支所 86-4151



Google フォームから
の申込みはこちら

【主催】木津川市社会福祉協議会

プロフィール



伊永 勉 （これなが つとむ）

一般社団法人 ADI 災害研究所 理事長

■略歴

1945年 兵庫県生まれ。

阪神・淡路大震災で、官民連携の典型と評価された西宮市のボランティア組織を結成して被災者支援活動を行った後、我が国初の民間防災研究機関であるエイディアイ災害救援研究所を設立。以降、相次ぐ豪雨災害・火山噴火・東日本大震災や熊本地震、イラン・台湾等海外を含む延べ30回以上の被災地支援活動を実施。国・自治体・社協・福祉事業所等の防災計画・BCP等の作成、訓練・研修・講演等は3千回に及び、国土強靱化や防災に関する各種委員会等に参加し、これまでの経験を活かし、2017年に「ふくし防災」をキーワードに、非営利の社団法人を設立。逃げおくれゼロや災害犠牲者を減らすことを目標に、個別避難計画策定への支援など、自助・共助による地域防災力の向上を目指した活動を展開している。

■その他の関係団体

阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター友の会 会長

NPO 法人大規模災害対策研究機構企画委員

公立大学防災センター連携会議オブザーバー

地域安全学会会員

■主な著書

ボランティアはいかに活動したか（NHK 出版）

災害ボランティア読本（小学館）

月刊公論“防災の世界を解剖する”を連載中（財界通信社）

連絡先 一般社団法人 ADI 災害研究所

TEL 06-6359-7711 FAX 06-6359-7722

URL <http://www.adi-saigaikenkyusyo.com/>

E-mail korenaga@adi-saigaikenkyusyo.com